

# 第8回GX実行会議

「我が国のグリーン・トランスフォーメーション実現に向けて」

2023年11月7日

三菱商事エネルギーソリューションズ株式会社

代表取締役社長 岡藤裕治

## GX実行会議（第8回）レジュメ

### 1. はじめに

- 今回GX経済移行債を「クライメート・トランジション・ボンド」として、世界に先駆けて迅速にフレームワークを策定し、国内外の評価機関よりセカンドパーティオピニオン（SPO）を取得したことはGXの実現の為の大きな進捗と考える。

### 2. 「産業GX」の加速化について

- 鉄鋼や石油化学産業をはじめとする「排出削減が困難な産業の製造プロセス転換」の取組みは、再エネや次世代エネルギーの需要創出につながるものと理解。需要側の電化や水素利活用の推進は、供給側のエネルギーの低炭素化と時間軸を合わせながら取り組むべきであり、需要側と供給側の一体的な支援を期待したい。
- 一体的支援の必要性は、hard to abate産業だけでなく、蓄電池や半導体等の最先端分野でも同様。特に半導体分野で製造プロセスにおける再エネや原子力等のグリーン電源の利用がグローバルスタンダードとなりつつある点を踏まえると、再エネ等の規模拡大・競争力強化がわが国の産業競争力を大きく左右することになる為、最優先で加速度的に取り組む必要がある。
- 産業の支援に関しては、効果的な投資促進策となるよう産業競争力強化と経済成長に貢献する分野に重点的に濃淡をつけて支援頂きたい。

### 3. 水素・アンモニア導入促進について

- 値差支援や拠点整備といった支援が将来的に再エネや次世代エネルギーの新規需要創出、関連産業の裾野の広がりにつながることを期待したい。
- 水素・アンモニア導入促進には競争力のある再エネが不可欠である為、再エネ事業者の立場として再エネの開発に確りと取り組んでいく。

### 4. 政府支援の在り方について

- カーボンニュートラル実現に向けて再エネの主力電源化を進め、安価で安定的に再エネを産業界に供給する為には、GX経済移行債を始めとする金銭的な支援策に加え、政府、民間の役割分担とリスクシェアの見直しが必要ではないか。
- 洋上風力をはじめとする大型再エネ事業では、リスクを事業者に全て寄せるのでは無く政府と民間の間で適切な役割分担とリスクシェアを図ることで、事業費の低減、ひいては再エネコストの低減が進み、産業界での電化推進、カーボンニュートラルに向けたCO2排出削減、更には日本の産業競争力向上に寄与出来ると考える。